令和4年度創立記念 岡崎初代園長生誕100年企画講演報告 ······ 1P
職員紹介 (令和 4 年度着任) ·············· 2P~4P
職員history①(医師・医療技術職編) 5P
職員history② (看護師編) 6P
職員history③ (生活支援員編) 7P
施設等Topics① 8P
施設等Topics② ····· 9P
施設等Topics③ ····· 10P
施設等Topics④ ····· 11P
ご協力ありがとうございます (R4年4月~R4年7月) 12P

次

● 目

令和4年度創立記念·岡崎初代園長生誕100年企画講演報告

<mark>岡崎英彦、糸賀一雄とともに-「この子らを世の光に」と</mark> 「本人さんはどう思<mark>てはるんやろ</mark>」-

法人事務局事業企画部



令和4年度 創立記念講演の様子(写真左 遠藤六朗さん)

前々号第139号では、「岡崎初代びわこ学園園長生誕100年に向けた取り組み」についてご紹介させていただきました。岡崎先生の言葉である「本人さんはどう思てはるんやろ」を知っている職員は多いものの、先生と出会ったことがある職員は、現在ではわずかとなってきました。そこで、令和4年度の創立記念式典の記念講演は、「岡崎先生の生誕100年企画」として、びわこ学園で働く私たちだけでなく、より多くの方々の学びとなることを期待して「岡崎英彦 人と思想熱願冷諦 岡崎英彦年譜著作目録」を執筆いただいた遠藤六朗さんにご講演いただきました。

この年譜著作目録は、年譜や著作の掲載だけにとどまらず、糸賀先生と出会い、先生の影響を受け、人生をかけて障害のある人々と向き合い続けた岡崎先生が積み重ねられたこれまでの実践や著作、さらには執筆中に関係団体から提供された資料に対する考察や解釈などもとりまとめられています。

講演で遠藤さんは、「岡崎先生の生涯は糸賀先生と 共にあり、糸賀先生の思想を継承しながら発展させて いったのが岡崎先生」であることを強調されました。 また、糸賀先生が亡くなられた後、「この子らを世の光に」を自分のものとする歩みとその実践の積み重ねの中で「重症心身障がい療育は、『エモーショナルなもの』=情動論を基底にした対人関係論である」ということを見出され、その中で生み出されるものが「人間関係の最も深いところから"幸"そのもの」であることを教わりました。

「なぜこの仕事が魅力的なのか」、「なぜ利用者さんと職員との関係から感じられる空気に魅了されるのか」、その「何か」は糸賀先生から岡崎先生へ受け継がれ、さらにびわこ学園で今も受け継がれているものなのかもしれません。

以前、遠藤さんから「岡崎先生は重症児施設が人間 理解の場であると話されていた」ことを伺ったことが あります。それを聞いて、利用者さんと向き合った ときに受け入れてもらえるかどうか不安だった後に、

「受け入れてもらえた」と感じられたときの喜びが何 ものにもかえられないものであったことを思い出しま した。

「この子らを世の光に」なるよう糸賀先生の思想を受け継ぎ、岡崎先生が目指された「ともに生きる」社会の実現が多くの方がたの喜びとなるよう、これからも事業を進めていくことがびわこ学園の存在意義・役割であり、私たちの仕事であるということを今回の講演で学ぶことができました。この場を借りてご講演いただいたことに対して改めてお礼申し上げます。

記念講演の動画と講演資料ついては、「びわこ学園ホームページ」からご覧いただけます。



TEL 0749-53-2771

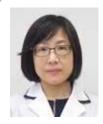
職員紹介~令和4年度着任職員?

\びわこ学園医療福祉センター草津/



佐竹 美穂

- ①医師
- ②利用者さん、職員の皆さんに、愛とユーモア を感じます。
- ③ひとつずつ丁寧に、できることを増やしてい きたいです。



中村 季実子

- ①薬剤師
- ②しばしば園内で困った様子でいるところを目 撃されているかと思いますが、部署に関わら ず職員の皆さまが声を掛けて助けてください ます。ありがとうございます。
- ③早く皆さまのお役に立てるよう努めます。よ ろしくお願いいたします。



荒井 琴葉

- ①作業療法十
- ②初めは緊張して関わり方がぎこちなく、どう 関わっていけばいいのか戸惑うこともありま した。しかし、先輩方が親身に相談にのりア ドバイスをくださったため、少しずつ利用者 さんのことを知り、関わりを通して笑顔が増 えるようになり嬉しかったです。
- ③常に「本人さんはどう思っておられるのか」 を考えながら関わっていき、少しでも利用者 さんの生活が豊かになるよう日々精進してい きたいと思います。



北野 彩

- ①作業療法士
- ②初めて関わる中で不安もあり、先輩方にたく さん相談しアドバイスを頂き、リハビリ場面 だけでなく、活動などでも関わる中で利用者 さんの一面を知ったり、目があったり、笑顔 を引き出せたことが嬉しかったです。
- ③利用者さんと適度な距離感を保ちつつ、自分 の関わり方を俯瞰して見れるようになること と、利用者さんを知り、生活が穏やかで豊か になるように日々関わっていきたいです。



矢野 名那子

- ①看護師
- ②利用者さんとの日々の関わりの中で、今まで 見たことが無かった表情を見ることができた 時は、利用者さんの新しい一面を見れた気が して印象に残っています。
- ③利用者さん一人ひとりに合わせた個別性のあ る看護が出来るようになりたいです。そして 重症心身障害児の方にも希望や思いを持って おられると思うので、その希望や思いを支え られるようにしていきたいです。



久德 彩加

- ①看護師
- ②初めは利用者さんの名前を覚えるだけで精一 杯でしたが、食事を食べて下さらなかった方 が食べてくれるようになるなど、少しずつ関 係性が出来てきたことが嬉しかったです。
- ③先輩方のように、お一人おひとりの特徴を理 解し、その方に合った看護が行えるよう、知 識や技術を学んだり積極的に関わりを持って 行きたいです。



上松 園果

- ①看護師
- ②利用者さんのことを考える時、--度立ち止 まって「本人さんはどう思てはるんやろ…」 と考える先輩方の姿が印象に残りました。関 わりの中で利用者さんの表情の変化や反応が分かるようになってきたことが嬉しく、さら に理解を深めていきたい思いです。
- -人ひとりに寄り添って、利用者さんが豊か な生活を送れるような看護ができるよう頑張 りたいと思います。



勝見 さえ

- ①看護師
- ②印象に残っている事は、びわこ学園職員が予 想していた以上に利用者さんに対する愛にあ ふれている事です。嬉しかったことは利用者 さんの笑顔を見れた時です。こちらまで楽し い気分になり笑顔になります。
- ③早くびわこ学園の一員として利用者さんに安 ・安楽を提供できるように頑張ります。よ ろしくお願い致します。



佐々木 優衣

- ②利用者さんとの関わりや先輩方からのアドバ イスにより、利用者さんの一人ひとりの性格 を少しずつ理解ができ、その方に合った援助 を行い苦痛の緩和に努められた事が嬉しかっ
- ③日々の関わりの中で利用者さんについての理 解を深め、まだまだ未熟なので知識と技術を 習得できるように努力していきたいと思いま



久木 梨瑚

- ①看護師
- ②毎日少しずつ利用者さんを知っていき、関り の中で利用者さんの笑顔を見ることが出来る ようになったことが嬉しかったです。
- ③日々の関りの中で利用者さんについての理解 を深めていき、より良い関係を築くことが出来るように努力していきたいと思います。

令和4年度もはや後半。今年度着任した皆さんは定期的に研修を受けながら、配属部署で先輩職員たちと共に利用者支援に精進しています。 就職してこれまでの日々の中で感じていることや、これからについて綴っていただきました。

【自己紹介について】

- ①職種
- ② (就職してから) 印象に残って いること・うれしかったこと
- ③これからの抱負



杉山 碧

- ①看護師
- ②初めは慣れないことも多かったですが、少しずつ利用者さんの事を理解し、かかわりの中で反応を返してもらえるようになったことがとても嬉しかったです。
- ③先輩方からたくさんの事を吸収しながら、積極的に利用者さんと関わり、より良い関係を築いていきたいと思います。



岩井 智美

- ①看護師
- ②利用者さんとの関わりで、反応をしっかり返してきてくれるようになった時はとても嬉しかったです。
- ③一つひとつの仕事を確実に行えるよう、日々の仕事の振り返りをしっかり行っていきたいと思います。



村井 優里

- ①看護師
- ②利用者さんとの言葉以外でのコミュニケーションのやりとりが少しずつできてきたことが嬉しかったです。
- ③個別性に富んだ看護が大切になるので、わからないことや疑問に思うことは先輩方に教わりながら、できることを少しずつ増やしていきたいです。



梅景 愛実

- ①看護師
- ②はじめは慣れてもらうことからで、反応がない時も多かったですが、自分がする関わりで利用者さんが笑顔になられたことが印象的で嬉しかったです。
- ③少しずつでも昨日よりできることを増やしていき、看護ケアだけにならないよう、利用者さんとの関わりを深めて利用者さんのことを知っていきたいです。



田口 鈴華

- ①看護師
- ②表情が多彩であり、表情一つでも様々な意味 を持っておられる点が印象に残ったことです。
- ③日々の経験を積み重ね、また、振り返りを行うことで出来る事を少しずつでも増やしていきたいと思っています。業務重視にならず、 看護を提供できるように努めていきます。



中嶋 美織

- ①看護師
- ②利用者さんと日々関わることでコミュニケー ションが図れ、笑顔になって下さったことが 嬉しかったです。
- ③利用者さんの理解や看護技術もまだまだ不十分であるため、一つでもできる事が増えるように頑張っていきたいです。



小川 琴音

- ①生活支援員
- ②初めは拒否の強い人や反応のない人が、仕事をしていく上で少しずつ受けて入れてくれたことがとても嬉しく感じました。
- ③利用者の理解を少しずつ深められるように積極的に関わることと、ゆとりを持って動けるようにしたいです。



告見 貴子

- ①生活支援員
- ②利用者さんとの関わりを通して笑顔が見られたこと。
- ③安全第一に努め、一つひとつの仕事を丁寧に すること。わからないことはそのままにしな いこと。先輩職員さんの良い所は真似して学 ぶこと。



坂田 輝人

- ①生活支援員
- ②利用者さんとの関わりのなかで、笑顔が見られたことがこの仕事をしててよかったなと感じます。
- ③知識・技術の向上のために積極的に利用者さんと関わり、率先して動けるようにします。



山本 和樹

- ①生活支援員
- ②話しかけても反応が無かった方が、挨拶をするとニコッと笑顔を見せてくれたこと。
- ③利用者の方々がその時々で何を考えているのか求めているのかを、支援していく上で感じ取れるようになりたい。



竹島 和男

- ①書記
- ②職員が一丸となって、一人ひとりの利用者の 生活を一番に考え、全力で取り組んでいる姿 が印象的です。
- ③日々の業務を一つひとつ着実に遂行していきます。また、利用者との接点を増やしていきたいと思います。

∖びわこ学園医療福祉センター野洲/



大島 圭介

①医師

- ②いろいろな職種の皆さんが、専門性に自信を持って協働されていることが素晴らしいなと思いました。自然が美しい!
- ③利用者さんのことで分かっていないこと、 技術的に不十分なことがまだまだ沢山ある ので、利用者さんとの時間を大切にしなが ら日々努力していきたいと思います。



長友 かなで

①看護師

- ②最初は援助が上手く出来なくてもやもやしたり、利用者さんとのコミュニケーションもうまく出来なかったり悩んだことが多かったですが、少しずつ出来るようになってきて嬉しく感じました。
- ③利用者さんが安全安楽に過ごせるような援助が出来るように、利用者さんの気持ちに 寄り添いながら援助をしていきたいと思い ます。



市木 亜弥

①生活支援員

- ②最初の頃よりも、関わりの中で利用者さん の良い表情をたくさん見られるようになっ たことを嬉しく感じました。
- ③これからも利用者さんはどのように感じているのかを考えながら、利用者さんの気持ちに寄り添った介助をしていきたいと思います。



藤井 結実

①看護師

- ②利用者さんがとても素直で純粋な心を持っておられ、屈託のない笑顔を見ることが嬉しく感じました。
- ③利用者さんの思いに気づき、その思いを汲 み取れるようになりたいと思います。



巻本 紗奈

①看護師

- ②利用者さんとの日々の関わりの中で、笑顔がみられたり、楽しくお話しできるようになってきたことを嬉しく感じました。
- ③利用者さんへの理解をより深め、利用者さんの気持ちを尊重し、安全・安楽で、個別性を大切にしたケアをしていきたいと思います。



廣岡 杏奈

①生活支援員

- ②いろいろな性格の利用者さんと関わる中でいい表情が見られたり、落ち着いてくださったりと、うまくコミュニケーションを取れた時に嬉しく感じました。
- ③利用者さん一人ひとりに対する理解をさらに深め、利用者さんが何を伝えようとしておられるのか常に考えながら援助をしていきたいと思います。



居原田 辰也

①看護師

- ②利用者さんとの間に少しずつ信頼関係が出来てきたことで、笑顔が見られ思っていることがわかるようになってきたことを嬉しく感じました。
- ③利用者さんの個別性を考え、日々健康に楽 しく生活できるようにお手伝いしていきた いと思います。



野村樹

①書記

- ②修繕や業者対応で各病棟におじゃまする機会が多くなり、利用者さんに顔を覚えてもらえて、コミュニケーションも取れて、勝手にですが友達になれたように感じる利用者さんが出来たこと。
- ③事務、設備保全、車両管理、業者との折衝 業務、何でもできるオールラウンダーを目標に、今までの知識と日々の業務での経験を融合させながら自分なりに仕上げていきたいと思います。

知的障害児者 地域生活支援センター/



中司 秀行

①生活支援員

- ②利用者さんに意図的に関わる事の大切さを確認し、支援について言語化する事のむずかしさに突き当たっていますが、とてもやりがいを感じています。先輩方に丁寧に教えていただけるので大変勉強になっています。
- ③これらの大切さやむずかしさに対して、納得がいくような実践ができるようになりたいと思っています。日々の時間を大切に仕事に当たりたいと思っています。

びわこ学園 障害者支援センター /



尾﨑 悠

①看護師

- ②臨時職員から正規職員となり就職してからはずいぶん経ってしまいましたが、始めは利用者さんにふれるのも、かかわるのも怖かった自分が、利用者さんと毎日楽しく過ごせている事が嬉しいです。
- ③湖北の医療ケア児者さんの横に立ちながら、 毎日を楽しむ事です。



職員History① ~医師・医療技術者編~

びわこ学園は病院機能と福祉機能を併せ持った法人であり、多様な職種の職員が利用者支援に携わっています。 今年もそれぞれにびわこ学園で働く中で感じていることを綴っていただき、職種でとでまとめさせていただきました。



2015年4月にびわこ学園に赴任しました。当時は4歳の子と1歳の双子の子育て中で、その後もう1人生まれ、今は4人の子育てをしながら働いています。びわこ学園での仕事はいつも慌ただしい子育てとともにあり、毎日が

いっぱいいっぱい。

色々と思うようにならなくて行き詰ったりもする中で、周囲からの子どもに向けた「かわいい」や「がんばったね」などの何気ない一言で、わが子を誇らしく思ったり、心が救われたりするんだということを親として実感しました。

診療の中で、医師として知識を深めたり、技術を身につけたりしていくことはもちろんですが、障害や特性も全部含めたその子の存在の素敵な所や一生懸命な所、そして家族やその子を周囲で支える人たちの毎日の頑張りを感じて、何気ない一言でも言葉にして伝えることの大切さを忘れずに、これからも日々自分ができることを精一杯やっていきたいと思います。いつも支えてくださる皆さんに感謝しています。

(山下 (松分) 久美子・医師・6年目) びわこ学園医療福祉センター草津



びわこ学園医療福祉センター野洲に入職して早いもので5年が経ちました。利用者さんと初めて接したのは、入職2週間後から始まった定期検査でした。利用者さんの生活面での知識、技術に乏しい私に、看護師さん・支援員さ

んが適切にアドバイスをくださり無事に何事もなく 検査を終えることができましたが、自分の未熟さを 感じました。

日を追うごとに、レントゲン検査の前後にフレンドリーに手を振ってくださる、握手を求めてくださる利用者さんが少しずつですが増えて嬉しく感じています。

今後は、利用者さんにもっと寄り添えるよう、元 気に明るく仕事をし、各利用者さんに合った撮影技 術を追求していきたいと思います。

> (岩田 英樹・診療放射線技師・6年目) びわこ学園医療福祉センター野洲



私とびわこ学園との出会いは、父がセンター草津・野洲にて診療放射線技師としてお世話になっていた頃、歯科にて歯科衛生士を募集されていることを知ったのがきっかけでした。幼い頃から父の話を通してびわこ学園のことや利用者さんの生活などを聞いて育ち、人と関わること

が好きな私は、「いつかびわこ学園の一員となり、利用者さんと一緒に歳を重ねられたら幸せだなぁ。」と思っていました。私の念願も叶い、ご縁があり、今ここに居させて頂いていることを本当に嬉しく思っています。衛生士歴は20年以上となりますが障害者歯科に携わるようになって12年。利用者さんからまだまだ教えてもらうことだらけです。

先日10年の永年勤続賞を頂き、10年という月日の経つ早さに驚いています。長く居させて頂いていることで、外来・病棟・センター野洲・往診宅など交流も増え、今では顔を覚えてもらうだけでなく名前で呼んで頂けることも増え、皆様との出会いに感謝の気持ちでいっぱいです。

障害者歯科の数はまだまだ少なく、全国的にみてもびわこ学園は実績のある歯科です。スタッフは3人と少ないですが歴史ある歯科で働けることを幸せに思い、まだまだ半人前ですが利用者さんや関わる皆様の笑顔と優しさに支えられ、これからもお口を通して利用者さんの健康を守る一員として一生懸命頑張ります。よろしくお願いします!!

(小寺 千会・歯科衛生士・11年目) びわこ学園医療福祉センター草津



先日、勤続10年を祝っていただき、就職した時に大先輩からいただいた「この仕事は10年やってもまだまだ分からないよ」という言葉を改めて思い返し、噛み締めています。

センター草津に就職し、病棟と外 来利用者さんのリハビリに始まり、 その後、訪問看護・多機能型事業所

との兼務を経て、昨年から訪問看護の所属となりました。 外来と病棟だけで働いていた時よりは、少しだけ具体的に 利用者さんやご家族の困り感にお付き合いできるように なってきたかな、とは思っています。

今後、利用者さんがその時に必要なリハサービスと繋がれるようなシステムがびわこ学園として整えられるよう、頑張っていきたいと思います。

(伊井 志織・理学療法士・11年目) びわこ学園障害者支援センター 訪問看護ステーションちょこれーと。

職員History2

~看護師編~

ここでは、看護師4名の皆さんに綴っていただきました。



びわこ学園に入職し、 3年が経ちました。入職 した頃は仕事もままなら ず、スタッフの方々に助 けてもらいながら、毎日 が慌しく過ぎていったこ とが思い出されます。

この3年で、スタッフの方々や利用者さんから多くの学びとなる経験をさせて頂きましたが、昨年、園内実践をさせて頂いたことは私にとって大きな学びであったと思います。園内実践の発表の際、途中で流れる映像の対象の利用者さんが私にエールを送ってくれているようで、心が和んだことがとても心に残っています。

そんな利用者さんのように、私も利用者さんに安心感を持って頂けるような看護を目指して、今後も邁進していきたいと思います。

(**逢阪** 真寿美・看護師4年目) びわこ学園医療福祉センター草津



私が重症児者看護を目指したのは、看護実習でダウン症の少年との出会いがきっかけでした。その少年は何をするにも純粋で、屈託のない笑顔を見せ、きらきら輝いて見えました。その時に「こんな純

粋で素敵な笑顔を絶やしたくない、私は障害を持つ人達の看護がしたい」と心に決めました。

それから10年、総合病院での看護を経験し、 念願である重症児者看護のびわこ学園に就職しま した。利用者一人ひとりの障害の特徴によって必 要とされるケアが異なり、難しい点も多いです が、ここでは、あの少年が見せてくれたようなき らきら輝く笑顔が溢れています。

利用者の声やしぐさ、全てに癒され、「よし、 頑張ろう」と自分を奮い立たせてくれる重症児者 看護の道を選ばせてくれたあの少年に"ありがと う"と言いたいです。

> (山田 友子・看護師11年目) びわこ学園医療福祉センター野洲



利用者さんをケアさせて頂く時「この方にとって良く効きますように」と思い、先輩の教えと多職種で仕事することが新人時代からの支えで、大きな学びとなる充実感が

ありました。

2004年就職し、育児と仕事の両立に悩み1年職場を離れたことがありました。再雇用していただいた時の面接にて、山﨑理事長のお言葉の中に、「外から見たびわこ学園はどうでしたか」という質問があり全く理解できなかったことを今でも覚えています。

大津センターでは様々な事業を担っており、地域支援で果たすびわこ学園の役割を強く意識させられる部署であります。視野を少しずつ広げ、ケアさせて頂く利用者さんを通して外から見たびわこ学園を意識できるよう頑張ります。

(髙原 麻紀・看護師11年目)

知的障害児者地域生活支援センター・さくらはうす



びわこ学園に就職して5年が経ちました。病院との違いに最初は戸惑う事もありましたが、先輩の指導のもと、年数を重ねるごとに慣れてきました。

学園の季節行事が充実して

おり、開催されるまでの職員さんの準備などが大変であるものの、行事当日の利用者さんの笑顔をみると、頑張れるのだろうなと感じています。

病院と違い、作業時間が日中に確保できることがあるのもありがたいです。今はコロナ禍で、2住棟自体、高齢化と重症化が進み大変な毎日ですが、職員それぞれが一生懸命頑張っています。

利用者さんの安全な生活の確保に努め、いつまでも、いい笑顔が見れるよう職員自身も健康で、ストレスと上手に向き合いながら、この仕事を継続していきたいと思っています。

今後もよろしくお願いします。

(笹本 直子・看護師6年目)

びわこ学園医療福祉センター野洲

職員History③ ~生活支援員編~

ここでは、生活支援員4名の皆さんに綴っていただきました。



センター草津に入職し、2 度の出産を経験して勤続5年 を迎えました。フィットネ スのインストラクターから 全く経験のない介護の現場 に、入職当初は不安だらけ でした。しかし、充実した 研修・現場経験を重ねる中

で利用者理解が深まり、相談し合える同期や優し い先輩方の支えのおかげで成長を遂げてこれまし た。

生活支援員として、利用者さんの力を発揮・引き出せる場としてサークル活動や特別枠の活動、個別の時間での関わりを私は特に大切にしています。10年以上続けているスイッチ活動において、人見知りもあり緊張がとても強かったある利用者さんは、参加当初1時間かけても押せませんでした。リハビリ職員さんと一緒に利用者さんの特性を考え気持ちが向く工夫をこらし、仲間と一緒に繰り返し行ってきた中で、今では出番の前から人の動きを見て手をスイッチに動かしタイミングよく押すことができるんです。本当に利用者さんの力にパワーを頂いています。これからも利用者さんの可能性を広げられる支援員でありたいです。

(杉本 有里・生活支援員6年目) びわこ学園医療福祉センター草津



2019年4月に「重症心身障害者通所施設えがお」の生活支援員として就職し、今年度より新しくできた「重症児者相談支援センターてくてく」で相談支援専門員をしています。

はじめは不安ばかりでし

たが、「びわりん」の先輩方をはじめ関係事業所 の皆様に助けられながら毎日を過ごしています。

相談支援専門員となって、ご家族より利用者さんの生い立ちから聞かせてもらう中で、生まれた時の様子や様々なエピソード、出会い、ご家族の思いを知ることができています。

本人さんやご家族の思いを大切にしながら、本 人さんを真ん中においた支援の輪を作っていける 相談支援専門員になれるよう努めます。

(近藤 真美・生活支援員⇒相談支援専門員4年目) びわこ学園障害者支援センター・てくてく



入職したばかりの頃は、どう 利用者さんとコミュニケーションをとれば良いのか全然分からずにボーっと突っ立っているだけの私でしたが、約半年が経った頃、関係作りにずっと悩んでいた利用者さんが、やり取りの中で大きな笑顔を見せてく

ださったことがとても嬉しくて今でも忘れられません。

入職し3年が経ちますが、この仕事を続ければ続けるほどに関係性は深まり豊かになっていくと感じています。そんな私の最近の楽しみは、「サザエさん」を毎週欠かさずに見ておられる利用者さんと最後の"じゃんけん"を一緒にする事です。些細なことですが、この方と私を繋ぐ私の大切な週課です。

今はコロナ禍で外出が制限されていますが、いつかは利用者さんと外に出かけ、いつもとは違う景色を一緒に楽しみたいという願望を抱きつつ、毎日の変わらない日常を丁寧に穏やかに、これからも一緒に過ごしていきたいと願っています。

(三好 美香・生活支援員4年目) びわこ学園医療福祉センター野洲



びわこ学園に入職してたくさんの利用者さんと職員に出会い、あっという間の10年でした。

就職当時の素敵な出会いのお話をします。私は彼の優しい言葉に励まされ、勇気づけられ今でも「ありがとう」と言いたい

方です。

彼は語り部塾の「語り」を学び「ぼくがあるけたら○○できたのに」という小さい頃からの思いを綴られた本を作られています。その頃、体調を崩して声が出しづらくなりました。しかし「語り部塾の課題を出したい!発表したい!」という思いから、五十音や早口言葉の練習を続けていました。一緒に練習するといつも「ありがとう」と言ってくださった笑顔を思い出します。利用者さんの率直な思いを聴き汲み取ることの大切さを知りました。

これからも利用者さんが何を感じ、何を思っているのかと理解を深められるように支援していきたいと思っています。

(中井 美幸・生活支援員11年目)

知的障害児者地域生活支援センター・さくらはうす



Topics 1

「いつもと変わらない病棟行事」

~令和4年5月 春の集い~

びわこ学園医療福祉センター草津 第1病棟・第2病棟・第3病棟

<第1病棟 5月30日(月)>

コロナが落ち着いていたこともあり、詰所に出られる方は出てみんなで集まって開催しました。職員と一緒に歌を唄ったり、新任・異動職員による出しものでハッピを着た職員が踊っていたのですが、そのうちに皆さんと一緒に踊りだしたりと、楽しく盛り上がりました。今後も楽しく過ごせる行事を企画していきたいと考えています。そして、いずれはご家族やボランティアの方々と共に大いに盛り上がりたいです。





<第2病棟 5月22日(日)>

この日は快晴。暑いぐらいの天気に恵まれました。この2年間コロナ禍で、職員が棟内のグループを回るなど制限がある中での行事でした。しかし、今回は感染が落ち着いていたため、外に出て行事を実施することができました。日差しが降り注ぐ中、日よけを設置し、グループの窓を開け、できる限り利用者に外の環境に触れてもらおうと考えてステージを外に設け、新任・異動職員の紹介や歌の披露をしました。久しぶりの外での行事に利用者も職員も楽しむことができました。

<第3病棟 5月29日(日)>

フロアやホームにて車椅子に乗り、大きな輪を作って楽しい春の集いを開催しました。 新人・異動職員による出し物では、女性職員による「翼をください」の合唱。男性職員は自身の肉体を使った一発芸をしてくれました。素敵な歌声に笑顔があふれる方がたくさんおられました。筋肉芸による急な発声にびくっとされる利用者さんもおられましたが、新任職員が笑顔で近づくと最後は笑顔になっておられました。

最後は新しい病棟での今年の意気込みを語 り合い、ほっこりした時間になりました。





Topics₂

「3年ぶりの合同夏祭り」 ~どんな時も利用者さんと一緒に楽しい時間を~

びわこ学園医療福祉センター野洲 第2病棟生活支援員(夏祭り実行委員長) 村田 恭子

ここ数年病棟毎での夏祭りの開催が恒例になりつつある中、今年は3年ぶりに全棟で集まり、2部制で開催しました。各棟では、合同の夏祭りに向けて気持ちが盛り上がるように、一週間ほど前から独自の夏祭りをはじめていきました。各棟での催しを少し紹介すると、第1病棟では「涼」というテーマを決めて、うちわや提灯をつくり、病棟内を飾りつけしたり、当日参加が難しい利用者さんに向けては職員が「はもるべ」というデュオを結成し、生演奏を届けたりしました。第2病棟では、利用者さんに意見を募ってヨーヨー釣り、ボウリング、だるま落としをしました。ボウリングやだるま落と



しは利用者さんが作り、職員とともに夏祭りを作り上げていきました。第3病棟では、活動部屋を垂れ幕や 提灯で飾り付けし、祭りらしい雰囲気の中、出来立ての綿菓子を食べたり、くじを引いてもらい、お土産が もらえるという企画で開催しました。

夏祭り当日の昼食は、チキンバスケット、たこ焼き、アメリカンドッグのスープにチョコバナナと、どれも夏祭りの屋台にあるようなお馴染みのメニューでした。(摂食・嚥下機能に合わせた)どの食事形態のメニューも本物と変わらない味わいで利用者、職員に大好評でした。



しかし、心配していた天気は心配していた通り!?に雨が降り出し、「これはもう中止か」と思ったところでしたが、第1部の午後の部は予定していた半分の時間でなんとか実施することができました。開会宣言は、事前のくじ引きで見事当選され、当日までとても楽しみにされていた第2病棟代表の利用者さんがして下さりスタートしました。毎年夏祭りに出演いただいている「『JERRYBEANS(ジェリービーンズ)』さんのオリジナル曲はもちろん聴きたいけど、やっぱり利用者さんが聴きたい曲も演奏してもらいたい」ということで、リクエストを募り、その中からも演奏してくださいまし

た。雨の後ということもあり、蒸し暑さの中で、だくだくの汗をかきながら、利用者も職員も、そしてジェ リービーンズさんも熱い楽しい心に残る時間を過ごすことができました。

第2部の夕方の部は、すっかり雨も上がった中予定通り実施できました。午後に比べると断然過ごしやすく、予定していた40分間のコンサートを思う存分楽しむことができました。会場近くの病棟では、窓を開放して外から聴こえてくる音楽をいつも過ごしている場で感じることができました。また、その他の病棟内でも「Zoom」を利用した映像配信という技術を使い、リアルタイムで演奏を楽しむことができました。ジェリービーンズさんの演奏が終わった後には、演奏してくれたことへの感謝の歌を第3病棟の利用者さんがアカペラで見事に歌い上げて下さいました。

夏祭りの最後は、伝統的に行っている「火文字」が3年ぶりに復活しました。第1病棟から代表して利用者さんが、緊張したおももちで点火してくださると、まず燃え盛る「カニ」の絵が浮かび上がり、そのあとには来年がびわこ学園創立60周年を迎えるプレの年であることを表す「59」という数字がうっすらと浮かび上がりました。

来年こそは、来年こそはと一年先の夏祭りに期待をしつつ、この間で 着実にイベントの規模は大きくなっています。新型コロナウイルスの収 束を願い、制限された生活の中ではありますが少しでも利用者さんと一 緒に楽しい時間をつくりあげることができたらと改めて思いました。





Topics 1

「プレイヤーのあなたと、サポーターの私たち」 ~「スコラ」を担当して得られたもの~

知的障害児者地域生活支援センター・生活支援センター 相談支援専門員 古庄 奈央子

昨年度まで、ひまわりはうすに所属し、「おおつならではの就労移行支援事業」(スコラ)を担当していました。

2013年から、大津市よりびわこ学園に委託されたこの事業は、2022年3月末でひまわりはうすでの取り組みはいったん終了し、大津市の違う法人に事業所移管することとなりました。そこでバトンを渡す立場となった職員の目線で、スコラへの思いを寄せたいと思います。

びわこ学園の日中活動の多くは、「療育」と呼ばれる ものですが、このスコラでの活動は、「自立訓練」とい うもので、一見すると「何をしているのだろう」と思わ れる方も多くおられたと思います。ここでの活動は、限 られた利用期間の中で、自立に向けた取り組みを行って きました。一言で「自立」といっても様々であり、「就



卒所生が作成した卒所式の看板

労! を思い描く方や「自分らしさ! を求める方など様々でした。そのような利用者が、私たち支援者だけで

律」について考えてきました。



卒所式後、卒所生・講師・職員記念撮影

毎年、新しい利用者を迎え、送り出すという流れは、新鮮であると同時に、目の前を利用者さんが通り過ぎていくさみしさと次のステップに羽ばたいていく嬉しさを感じながら支援に携わってきたように思います。また、支援の中心となるものが「ストレングスを引き出し、つぎのステップにつなげる」ことであり、利用者自身が「自ら考え、答えをだすこと」「失敗すること」「自己決定すること」など支援者が関わりすぎない

なく外部講師を交えた様々な授業を通して「自立」そして「自

この9年間に、羽ばたいていった彼らの現在は、どうでしょうか。スーパーで働き、店一番の元気な挨拶をされている方。何度も面接にチャレンジし、今はメンテナンスの仕事を見つけられた方。特技を生かし、自分らしく働かれている方。そして、働くために、勉強中の方も多くおられます。

「引き算の支援」を常に心がけていたように思います。

しかし、まだ若い彼らですから、これから何が起こるかわかりません。何か、つまずいたときに、「スコラの仲間と一緒に

考えたよね。」「あの時、 しんどかったけど、乗り越 えられたし!」と思い出し



南方所長より卒所証書授与

てもらえると嬉しいです。『プレイヤーはあなた自身。私たちはサポーターだからね。』と、皆さんの背中を押してきました。自分で決めた進路だからこそ、キラキラと輝いているはずです。

私にとって、このスコラに携わり、「自立、自律って何だろう?」と 利用者の皆さんと一緒に考えられたことが、何よりも財産です。

今後の皆さんのご活躍を応援しています。



ひまわりはうすで 作製したキャンドル



Topics 4

「笑顔咲く、たいよう」~日々の生活に彩りを添えて~

びわこ学園障害者支援センター・たいよう 生活支援員 大藪 規晃

新型コロナウイルスが流行しはじめ3年目となり、外出や行事の中止(縮小)をしながらも利用者みなさんの安心・安全な生活の上での楽しみを模索してきました。その一つがひまわり畑です。日々の生活にちょっとした楽しみを増やそうという目的で育て始めたひまわりですが、芽が出て、茎が伸びて、花が咲いて、と日々の観察や天気の良い日にはみなさんと水やりや雑草を抜いたりしてきました。





花壇の名前も

【サンフラワーガーデン】に決定し、 看板を設置しました。7月中旬にはひ まわりも咲き始め、みなさんと一緒に 写真を撮って楽しんだりすることがで きました。また保護者さまとひまわり の話題に花が咲くことが増えました。

外出しにくいなかではありますが、 たいようにはみなさんといっしょに育 てた素敵なフォトスポットがあるので 是非近くにお越しの際にはお立ち寄り ください。





今後の【サンフラワーガーデン】では、季節を感じられる花を利用者や保護者のみなさまといっしょに育てながらも、それをたいようだけで楽しむのではなく、地域でも楽しんでもらえるような取り組みをしていけたらと思います。







大きく育って欲しいと、水やり、手入れを頑張ってくださいました。 元気よく育った"ひまわり畑"の前でハイ、チーズ!

ご協力ありがとうございます

(令和4年4月~令和4年7月) (敬称略) 管膜の心温度るご気援尼威斯(いたします。

寄付金

(寄付金についてはいただいた方の御名前または団体名のみご報告させていただきます。)

法人

東 啓子/白石 剛

びわこ学園医療福祉センター草津

上田淑子/匿名

びわこ学園医療福祉センター野洲

Do Ferio/濱崎清美/中山 陽

物品の寄付

びわこ学園医療福祉センター草津

食 品…石塚義之・千恵/熊本県重症心身障害児(者)を守る会

その他・・・みつばち会代表 廣瀬房子(3件)/公益財団法人河本文教福祉振興会/滋賀県社会福祉協議会/ 上田和代/松林聖一/浦 伸年/上田淑子/さいわい

びわこ学園医療福祉センター野洲

食 品…服部重正

日用品…中澤偉久

その他・・・長沼利枝/芦田ちづ子

びわこ学園障害者支援センター

食 品…岩田淑子/住野三千子/後藤敏子/時札妙子/辻川千津子/督永勝次/織田信明/寺田喜久夫

ボランティアのみなさん

びわこ学園医療福祉センター草津

みつばち会/天理教江西支部/玉川中学校PTAと教職員の皆様/加藤常満

びわこ学園医療福祉センター野洲

近江金田教会/更生保護女性会/天理教婦人会/together/ニレトミ会/野洲赤十字奉仕団/レイカ野洲/レイカディア大学園芸科43期/レイカディア大学園芸科0B/安藤眞紀/今里哲也/上田順子/加藤常満/川端しづ子/左部真千恵/田中規久子/中富恵子/林 政子/樋口世治/藤山庸子/細川久子/堀田千景/森 紳司

びわこ学園障害者支援センター

ハートフルガードナーかすみ草/笠縫東学区更生保護女性会 卯田美千代

その他の協力団体

びわこ学園後援会

各施設等での事業補助

